



2023年11月 現在

Fujitsu Software

NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit) V13.0.0

NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ (64bit) V13.0.0

本商品は、COBOL 開発・運用商品として実績の高い NetCOBOL(PowerCOBOL85/97)の Linux(Intel64)版商品で、国際規格 (ANSI'85 およびX/OPEN CAE(Common Applications Environment) 仕様) に準拠し、オブジェクト指向機能などの国際規格COBOL2014の主要機能、SIA 富士通標準仕様および主要な業界標準仕様といった拡張仕様を取り入れた言語仕様を実現するCOBOL開発環境および運用環境です。

本商品では、Intel64アーキテクチャに最適かつ高速なオブジェクトコード生成によりネイティブな64ビットアプリケーションの開発および運用を可能とします。

NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ(64bit)により、既存の COBOL アプリケーション資産および構築ノウハウを活用することができます。

NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ(64bit)は、NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ(64bit)に含まれるコンポーネントのうち、アプリケーションを運用するために必要となるCOBOL運用環境などから構成される商品です。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ サーバ

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

1. 言語仕様：幅広い言語仕様・プラットフォーム共通の言語仕様

幅広い言語仕様およびプラットフォーム共通の言語仕様をサポートしています。

(1) ANSI '85

すべての必須機能単位最高水準、組み込み関数機能

(2) X/OPEN CAE仕様(XPG4)

行順ファイル、コマンド行引数/環境変数操作、ファイル/レコードの排他制御、連結式など

(3) オブジェクト指向

国際規格COBOL2002で採用されたオブジェクト指向プログラミング機能

(4) 主要な業界標準仕様

VS COBOL(IBM), Micro Focus COBOL

(5) SIA富士通標準仕様

日本語処理機能、表示ファイル機能など

2. 実行環境：次の機能のサポートにより、サーバ業務に適したアプリケーションを作成

(1) マルチスレッドのサポート

マルチスレッドモデルで作成されたアプリケーションの開発・運用をサポートします。マルチスレッド機能により、今後さらに増大するIT(情報技術)分野/ネットワークコンピューティング/分散オブジェクト環境での業務アプリケーションの円滑な運用を実現します。

(2) C言語アプリケーションとの融合

COBOL 言語で記述されたアプリケーションとC言語で記述されたアプリケーションの相互の呼出しが可能です。

(3) COBOL Invoker for Java

JavaからのCOBOLプログラム呼び出しを支援するライブラリを提供します。

3. データベース連携

プログラム中に埋込みSQL文を書くことにより、データベースへアクセスが可能です。

以下のデータベースは、プリコンパイラを使って利用できます。

・ Enterprise Postgres

・ Symfoware Server (Postgres)

・ Symfoware Server (Nativeインターフェース)

・ Oracle Database [Oracle ProgrammerのPro*COBOLプリコンパイラ]

以下のデータベースは、ODBCインターフェースを使って利用できます。

・ Enterprise Postgres

・ Symfoware Server (Postgres)

動作確認済データベースの詳細については、「関連URL」の「お客様向けURL」に記載されているNetCOBOLのホームページの「機能概要:データベース」を参照してください。

4. 開発支援機能：次の機能のサポートにより、アプリケーション開発における生産性の向上を促進

(1) makefile作成支援

ソースの依存関係を解析し、makefileを自動生成します。

(2) ダンプ機能

実行可能ファイルとオブジェクトファイルからトラブル調査に役立つ情報を出力する機能

(3) ファイルユーティリティ

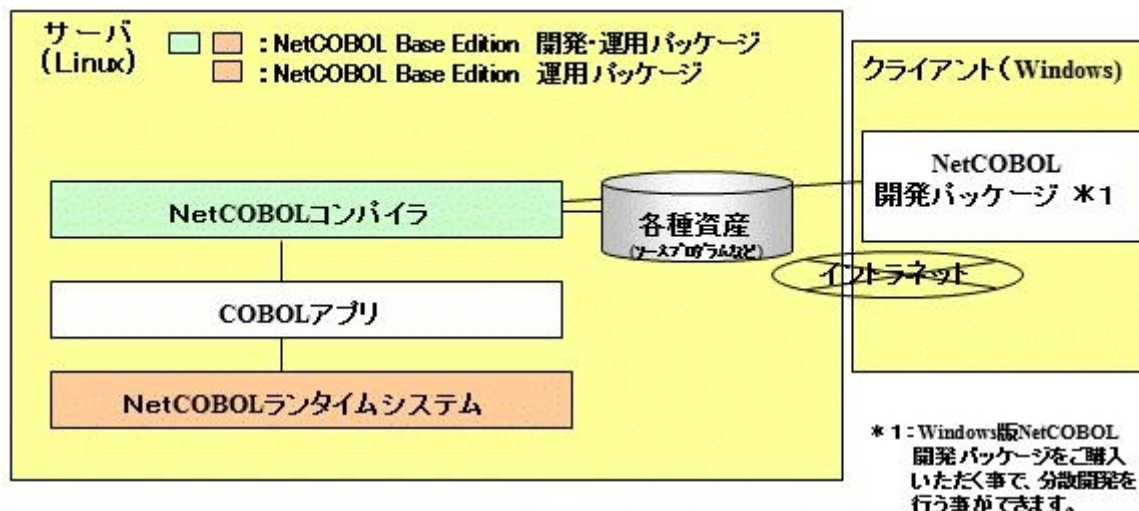
COBOLファイルの創成、表示、復旧を支援するユーティリティコマンドを提供します。

(4) Windows環境を利用したリモート開発機能

別売のWindows版NetCOBOLに含まれるNetCOBOL Studioを利用した分散開発機能（リモートビルド、リモートデバッグ）により、Windowsを核としたサーバアプリケーションの開発環境の統合を図り、開発～実行テストまでをWindows上で実現できます。

(5) 他社COBOL資産移行支援機能

- ・ 他社COBOL向けソースプログラムをNetCOBOL用に翻訳前にソース変換する機能
- ・ 他社COBOLの順・相対・索引ファイルをNetCOBOLのファイル形式に変換する機能



V12a (V12.2.0)からV13.0.0の機能強化は以下のとおりです。

1. Red Hat Enterprise Linux 9対応

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)を新たにサポートします。

2. 他言語連携機能 (COBOL Invoker for Java)

JavaからのCOBOLプログラム呼び出しを支援するライブラリを提供します。

これにより、Javaがサポートする多くの機能と連携することで、クラウドを含むより多くの場面でCOBOLプログラムを活用できるようになります。

例えば、Javaで記述したRESTサーバーからCOBOLプログラムを呼び出すことで、COBOLプログラムをREST経由で呼び出すサービスを容易に実現できます。

3. 言語仕様拡張

規格対応および他社からの移行を容易にするため、以下の言語仕様について拡張します。

- 原始文操作での部分語指定
- Micro Focus利用者語互換モード
- INSPECT文TRAILING指定
- 整数関数および数字関数の記述場所の拡張
- ACCEPT/DISPLAY文での機能名COMMAND-LINE
- プログラム間連絡でのコマンド行の長さの拡張

4. 実行動作の拡張

利便性および他社からの移行を容易にするため、以下の動作について拡張します。

- ACCEPT文での入力モード指定
- ACCEPT文の機能名CONSOLEでの実行時メッセージの抑止指定
- 行順ファイルでのタブ読み込み指定
- 外部ファイルハンドラでのシフトJISデータのサポート

5. データベース連携強化

データベース連携のために、以下について強化します。

- SQL機能の埋め込み例外宣言の仕様
- ODBC機能の位置づけ更新
- ODBC機能のNULL文字転記時の動作指定

・ オンラインマニュアル

- ・ソフトウェア説明書 NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ V13 開発・運用パッケージのみ
- ・ソフトウェア説明書 NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ V13 運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V13.0.0 リリース情報
- ・NetCOBOL V13.0 マニュアル体系と読み方
- ・NetCOBOL V13.0 入門ガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V13.0 ユーザーズガイド
- ・NetCOBOL V13.0 ユーザーズガイド (他社COBOL資産移行支援編) 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V13.0 CBL サブルーチンユーザーズガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V13.0 LE サブルーチンユーザーズガイド 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V13.0 COBOL文法書 開発・運用パッケージのみ
- ・NetCOBOL V13.0 メッセージ集

【メディア】

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ メディアパック (64bit) V13.0.0
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ メディアパック (64bit) V13.0.0

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) for Linux (SL&S)
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) for Linux (SL&S) 7年
- NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (64bit) for Linux (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途 ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。

バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1 プロセッサあたり 1 本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連 URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit) について

NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit) は、開発および開発と運用を同一マシン上で実行する際に必要となる商品です。

4. NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ (64bit) について

NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ (64bit) で作成したアプリケーションを他のサーバ上で実行する際に必要となる運用環境商品です。

5. 32ビット環境で利用する場合について

本商品は、64ビット環境で利用するための商品です。32ビット環境で利用する場合は、以下の32ビット版の商品を購入してください。

- ・NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ メディアパック V7.3
- ・NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V7.3
- ・NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ メディアパック V7.3
- ・NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V7.3

32ビット版と64ビット版は、同じコンピュータにインストールして利用する事ができます。その場合は、両方のメディアパックとライセンスをそれぞれ必要数分購入してください。

6. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約 の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

7. クラスタシステムにおける運用環境商品のライセンスについて

相互待機形態(Active/Active)で運用する場合は、各サーバに製品を購入する必要があります。

ただし、運用待機形態(Active/Passive)で運用する場合は、通常運用時に待機ノードとなっているサーバには運用ノードで購入したライセンスを使用できます。

8. COBOL Invoker for Java のライセンスについて

本商品に含まれるJavaからCOBOL呼出しを支援するためのライブラリをお使いになる場合、お客様は、当社製COBOL処理系とともに動作するCOBOLプログラムと連携する目的のために、COBOL Invoker for Javaを任意のコンピューター上にコピーして利用することができます。

9. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) Supplementsディレクトリ下のファイル

本製品のインストール媒体のSupplementsディレクトリ下のファイルは、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号にかかわらず、お客様は、弊社製COBOL処理系（NetCOBOL等）とともに動作するCOBOLプログラムと連携する目的のために、任意のコンピュータ上にコピーして使用することができるものとします。

(3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

1. NetCOBOL Studioを利用したリモート開発機能を利用する場合

Windows 版の以下のいずれかの商品が必要です。

- ・ NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (32bit) V11以降
 - ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (32bit) V11以降
 - ・ NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ (32bit) V11以降
 - ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (32bit) V11以降
 - ・ NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ (64bit) V11以降
 - ・ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ (64bit) V11以降
 - ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ (64bit) V11以降
- 新規エンハンス内容を利用される場合は、最新版をご利用ください。

2. COBOLアプリケーションをUNICODEで運用しVSPプリンタ(FNP対応機種)に出力する場合

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V10.0.0以降

3. VSPプリンタ(FNP対応機種)に出力する場合

- ・ PrintWalker/LXE V16L30以降

1. サーバにおける関連ハードウェア

VSPプリンタ（FNP対応機種）

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)

2. 32ビットアプリケーションの開発と運用について

32ビットアプリケーションを開発および運用する場合は、32ビット版NetCOBOL商品を別途、購入してください。

3. ロケールについて

動作保証しているロケールと表示言語の組み合わせは、以下です

- ja_JP.UTF-8 日本語
- en_US.UTF-8 英語
- zh_CN.UTF-8 英語
- pt_BR.UTF-8 英語

4. 32ビットLinux版およびSolaris版との機能差

本商品は、32ビットLinux版およびSolaris版 NetCOBOL Base Editionと比較して、以下の機能をサポートしていません。

- ・ クラスライブラリ（帳票、DB、コレクション）
- ・ プロジェクトマネージャなどの開発支援ツール、デバッガ、およびファイルユーティリティのGUI版（Windows版NetCOBOLによる分散開発で代替）
- ・ COBOL デバッガ（gdbによるデバッグ又はWindows版NetCOBOL Studioからのリモートデバッグで代替）
- ・ スクリーン操作機能
- ・ 報告書機能（REPORT SECTION）
- ・ 簡易アプリ間通信機能
- ・ Web連携機能

5. 印刷について

VSPプリンタ（FNP対応機種）のみ印刷可能です。

6. 他社COBOL資産移行支援機能について

NetCOBOLでは、他社COBOLの文法に従って記述されたソースプログラムを、NetCOBOLが翻訳可能なソースプログラムに変換する機能を提供しています。COBOLプログラムは、データベース、帳票システム、トランザクションシステムなどと連携した作りになっているケースが多く、NetCOBOL製品に組み込んでいる変換機能だけでは変換できません。

他社COBOLからNetCOBOLへ移行する場合は、NetCOBOLホームページに記載のNetCOBOL資産移行・技術支援サービスを参照の上ご検討ください。NetCOBOLホームページは「関連URL」を参照してください。

7. 前版(V12)との違いについて

以下のOSをサポート対象外としました。

- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)

8. 大規模高信頼性システム連携について

以下の大規模高信頼性システムとの連携は、本Editionは利用できません。

NetCOBOL Enterprise Edition をご購入ください。

- Interstage Business Application Server

9. 連携商品について

連携商品については、各商品のLinux(Intel64)対応状況およびCOBOLとの連携状況をご確認ください。

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（NetCOBOL）**

本商品の詳細は、以下のNetCOBOLのホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/cobol/>

- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>